

令和8年度 7月行事予定

1	水	全校朝礼(野球部壮行会) 求人票受付開始 ⑤⑥非行防止教室	
2	木	⑤⑥HR(運動会関係)	
3	金	⑥総探 身だしなみ指導③	
4	土	進研記述模試(1・2・3年)	
5	日	第76回全商ビジネス文書実務検定試験 第1回実用英語技能検定(二次) 野球開会式	
6	月	④ミツマタ観察(3年紙まち) ☺ 身だしなみ週間	
7	火	地域における体験学習・工場見学(1年:終日) 7、8月校納金口座振替	
8	水	クラスマッチ1日目	
9	木	クラスマッチ2日目	
10	金	午前中短縮授業	
11	土		
12	日	野球1回戦(第1試合 今治球場)	
13	月		☺
14	火	食品衛生責任者講習 金融経済講座(2・3年) 午前中短縮授業(1年)	
15	水	午前中短縮授業 PTA新聞発行(第87号)	保護者懇談会
16	木	午前中短縮授業	
17	金	終業式 運動会団役員会② 部集会	
18	土		
19	日		
20	月	(海の日)	
21	火		進路・検定補習・就職指導
22	水	心肺蘇生法講習会(13:30～)	
23	木	中学生1日体験入学	
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	中学生1日体験入学(予備日)	
29	水	小型ボイラー取扱技能講習	
30	木	小型ボイラー取扱技能講習	
31	金	3年生就職ガイダンス	

8月行事予定



1	土		
2	日		
3	月		
4	火		
5	水	高所作業車の運転業務特別教育(学科)	
6	木	高所作業車の運転業務特別教育(実技)	
7	金		
8	土		
9	日		
10	月		
11	火	(山の日)	
12	水	閉庁日	
13	木	閉庁日	
14	金	閉庁日	
15	土	土居夏祭り	
16	日		
17	月		
18	火	小型車両系建設機械の特別教育(学科)	
19	水	小型車両系建設機械の特別教育(実技)1班	
20	木	県学力テスト②(3年) 小型車両系建設機械の特別教育(実技)2班	進学補習 検定補習 就職指導
21	金	小型車両系建設機械の特別教育(実技)3班	
22	土		
23	日		
24	月	小型フォークリフト(1t未満)の運転業務の特別教育(理論講習)	
25	火	小型フォークリフト(1t未満)の運転業務の特別教育(実技講習)1班 運動会グラウンド打合せ練習(13:00～)	
26	水	小型フォークリフト(1t未満)の運転業務の特別教育(実技講習)2班	
27	木	小型フォークリフト(1t未満)の運転業務の特別教育(実技講習)3班	
28	金	始業式 課題テスト(1・2年) 金①～③(3年) 運動会団役員会③ 運動会練習開始 身だしなみ指導④	
29	土		
30	日		
31	月	進路希望調査② 身だしなみ週間 運動会係打合せ会①	☺



☺…スクールライフアドバイザー来校日
御意見・御感想は電話またはFAXでお願いいたします。
電話：0896-74-2017 FAX：0896-74-7221



7月 土居高だより



進路課 村上 誠

一学期の学びを、進路実現に生かそう！

1 卒業生によるキャリアガイダンス 6月19日（金）、講演会 6月12日（金）から思う

キャリアガイダンスで講評をいただいた方や卒業生が、「自分が何に向いているか（何をしたらよいのか）わからないなら、まず目の前のことを精一杯（楽しむつもりで）全力でやってみること」というエールを送ってくれました。遊びでも、学習や行事であっても全力で楽しむことは、いざというとき未来の自分を助けてくれるのだと思います。

地学基礎で学習する「宇宙の膨張」「ビッグバン」の発見に貢献したミルトン・フマーソン（1891～1972・アメリカ）は、少年期には学校に行く意義を見いだせず14歳で中退し、ロサンゼルス郊外のウィルソン山天文台（当時最大級）建設に携わりました。その設備に興味を持った彼は、熱意が認められて異例の職員（守衛兼夜間助手）に採用されました。ビリヤードなどの遊びや機器操作に器用さを発揮していた彼は、大望遠鏡の操作を任せられ、後に学位を取得し、長時間観測に耐え「宇宙の膨張」の数々の証拠を見つけることになったのです。フマーソンは、自分のやりたいことが見つかったときに役立つ技能を身に付けていたことと、「是非やりたい」という情熱を伝えられたことで人生が変わり、塩見先輩のビデオレターにあった「自分の強みを生かす」道を見いだせたのです。

12日の講演会では、地域の紙産業のトップランナーである事業所も自社の技術を生かして、新たな製品づくりに挑戦していました。時代が変わり、ニーズが変化してくることを想定して、強みを生かして生き残り・活躍できる道を模索しているのです。

2 「やってみなはれ！」資格・試験への挑戦・準備が未来の自分を作る

近年の少子化や、現場仕事離れでリフトや建設機械など重機系の資格を取る人が減り、今まで校内で取得できていた運転免許等の講習を行っていくことが困難となってきました。今は人手不足で仕事がありますが、何年か先のことはわかりません。就職しても進学しても、「あなたは何かができますか？」ということがいずれ問われることになります。スポーツで勝ち上がるチーム・選手は、「必ず使う技能」の練習はもちろん、いざというときに備え「引き出しを増やす」ための準備・練習を絶えず行っています。未来の自分のために本校での「引き出しを増やす」チャンスをぜひ生かしてください。